

学年	教科等	単元等	活用アプリ
中3	社会公民	人権と日本国憲法「個人の尊重」	オクリンクプラス

授業内容

プライバシーと表現の自由の関係について考えを深めよう

準備：

- ・共有コードを使用して2種類のカード（「有名人だったら」カード・「一般人だったら」カード）を取得する。
- ・みんなのボードを班の数分用意する。
- ・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。

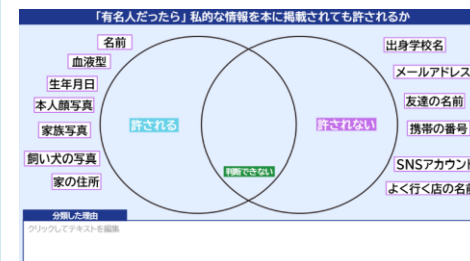
授業の流れ：

1. マイボードに送られた2種類のカードを各自で開く。
2. 「有名人だったら」カードにある13個の「情報」パーツについて、有名人だった場合に本への掲載を「許せる」「許せない」「判断できない」の3つに分類し、ベン図に整理するとともに、その理由を書く。
3. 次に、「一般人だったら」カードにある13個の「情報」パーツ（パーツの内容は「有名人だったら」カードと同じ）について、一般人（自分自身）のことであったら「許せる」「許せない」「判断できない」の3つに分類し、ベン図に整理するとともに、その理由を書く。
4. 班で互いのベン図を見せ合い、分類した理由を伝え合う。その上で、有名人の場合と一般人の場合を比較しながら、なぜプライバシーの権利よりも表現の自由が優先されることがあるのかについて、具体例を挙げて話し合う。
5. 各班で出た意見を全体で共有する。

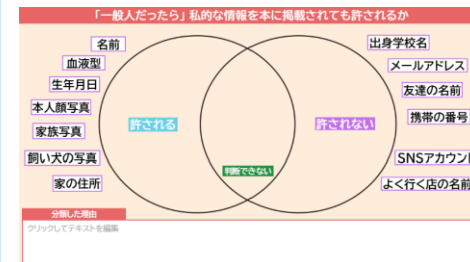
サポート
おすすめ
ポイント

- ・ 同じ情報でも、有名人か一般人かによって判断が変わることを比較することで、プライバシーと表現の自由の関係を具体的に理解できます。
- ・ 分類の理由を交流・比較する活動を通して、権利の優先順位について根拠をもって考え、説明する力を育成できます。

「有名人だったら」カード



「一般人だったら」カード



共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む



pb01M13J68PT3P0H1HC3BSAHNC3P